



案内標識に①の様な地点番号が付いています。この地点番号は、森の中で自分がどこにいるのか(現在地)が誰にでもわかるように付けられたものです。

かじっぴらいなりじんじゃ 鍛冶平稻荷神社 について

～旧下寺尾村での伝～
12世紀頃、新田義重(新田荘下司でこの一帯を管理)に仕える鍛冶職人が良い鍛冶仕事ができるよう祈念する神社として創建されたと伝えられている。
毎年、地元の人たちが周辺を清掃するなど、今でも大切に維持管理している。

どばし 土橋について

長さ20mにも及ぶ細い尾根を削り込んだ土橋は、両側が下まで落ちていて渡るのが怖いほどの迫力である。(※転落注意)

てらおなかじょうあと 寺尾中城跡 について

本城を主郭として北東に延びる細い尾根に5つの郭を設け、その郭間を堀切で断ち切るという天然の地形を巧みに利用した連郭式山城であり、南北朝時代には南朝の拠点として世良田政義が整備し尹良親王を迎え入れたと伝えられている。

この公園は、NPO法人KFP友の会が群馬県指定管理者選定により、管理・運営を行っております。

至サービスセンター

至第二駐車場

至クラフト工房

至駐車場